

長野県阿智村ゼロカーボンシティ宣言

～阿智村は、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指します～

二酸化炭素など、温室効果ガスの排出増大により、熱波や豪雨などの異常気象の頻発、海面上昇、生態系、食料・水不足など気候変動を引き起こし、世界の人々の生存基盤を脅かす、深刻な環境危機と世界気象機関（WMO）は見解を示しています。

阿智村は、豊かな自然環境の保全に取り組む中で、平成18年（2006年）に環境省が実施した「全国星空継続観察で星の観察に適していた場所」の全国1位に認定されました。

また、阿智村自然環境保全条例では、「住民は、自然環境の保全に関する施策に協力し良好な生活環境の確保に努める」ことを目標とし、令和8年3月に「阿智村地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定しました。

阿智村ではこの理念を継承し、美しい星空に代表される豊かな自然と持続可能な未来を子どもたちに引き継ぐため、また、村民のみならず、阿智村を訪れる人々にとっても魅力的で穏やかな四季のある村であり続けるため、二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことをここに宣言します。

令和8年（2026年）10月2日

阿智村長

熊谷秀樹

阿智村議会議長

熊谷恒雄

阿智村自治会連絡協議会長

原 勉

阿智村ゼロカーボンシティ宣言の実施にあたって

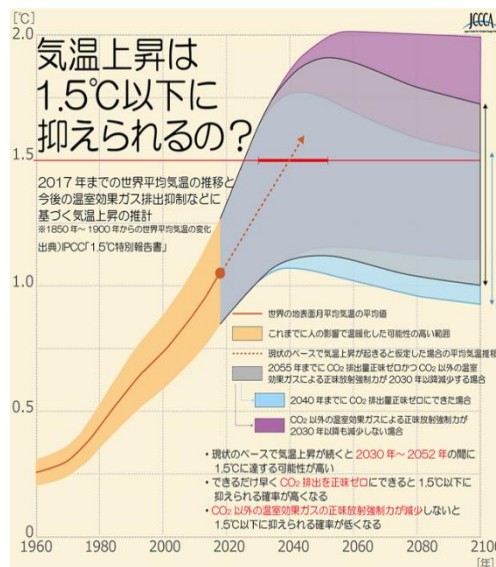
○ 地球温暖化が急速に進行しています

近年、地球温暖化に起因すると考えられる異常気象や、それに伴う災害が世界各地で頻発しており、日本においても数十年に一度といわれる災害が毎年のように発生する異常事態が続いています。

地球の平均気温は産業革命前の水準と比べ 1.55～1.60℃高いと報告されており、これは観測史上最も高い記録であり、パリ協定で定められた

「気温上昇を 1.5℃以内に抑える」という目標に対して警鐘を鳴らす結果となっています。

【地球温暖化による気温上昇】



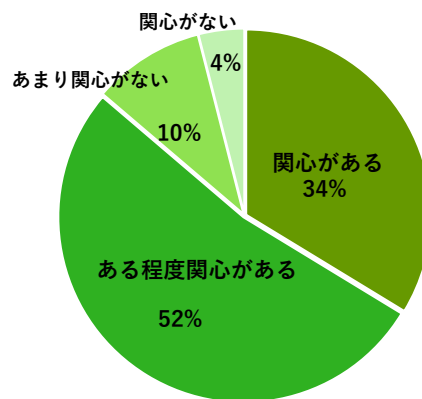
○ 村民の皆さまの地球温暖化対策に関する関心が高まっています

令和7年度に実施した「村民アンケート」では、86%の方が地球温暖化に対して関心があり、約3分の2の方が二酸化炭素（CO₂）排出削減に取り組むたいと回答しています。

今できる取り組みとして、照明のLED化や燃やすごみの排出量の削減などがあります。

行政や事業者だけの取り組みだけでなく、村民と協働して取り組むことが必要です。

【地球温暖化に対する村民の意識】



○ これからも阿智村の豊かな自然環境を守り続けます

阿智村の豊かな自然環境が日本一の星空の村として、地域の魅力や振興につながっています。

村民が今後もこうした豊かな自然の中で快適に暮らし、次世代を担う子どもたちに引き継ぐために、今ある資源を守り、ゼロカーボン達成に向けて、持続可能な村づくりを進めていきます。

【ヘブンスそのはら いわなの森】

